

# 2019年度 新潟市立五十嵐中学校教育ビジョン

## 教育目標

- 『知性』 学力を身に付け、物事に対して自ら考え、判断し、より良く生きようとする力
- 『創造』 学んだことを活用し、自ら新しいことを発想したり、挑戦したりする力
- 『協力』 目標に向かって、互いを認め、助け合い、高め合って達成する力

## 重点目標

- ① 自ら考え、判断し、変化する社会の中で課題や問題に対応できる人間の育成
- ② 互いのよさを認め合い、支え合い、共に高め合い、磨き合える人間の育成
- ③ 集中して学習や活動に取り組み、共に喜びを分かち合える人間の育成



学力向上	社会性と規範意識の向上	豊かな心の育成	生活習慣の確立と体力の向上
<b>【成果目標】</b>			
<p>◇「授業が分かる」と評価する生徒が5教科全てで前年度を上回る。</p> <p>◇かかわり合いのある授業を通して学習内容が深まった」の評価が経年変化でプラス値になる。(1年生は80%以上)</p> <p>◇「授業三原則」が実施できたと評価する生徒が90%以上。</p>	<p>居心地のいい学級をつくることのできたと評価する生徒80%以上</p> <p>いじめを生まない、見逃さないことのできたと評価する生徒90%以上</p> <p>「あじみこ」を身に付けていると評価する生徒90%以上</p>	<p>道徳の授業を通して自分の考えが深まったと答える生徒80%以上</p> <p>自分には良いところがあると評価する生徒80%以上</p> <p>行事を通して達成感や成就感を味わうことのできたと答える生徒90%以上</p>	<p>食生活の向上を考えて生活できる生徒80%以上</p> <p>十分な睡眠をとり、意欲的に学習や活動ができると評価する生徒80%以上</p> <p>体力テストの全国平均を上回る項目が、各学年とも5項目以上</p>
<b>【教育・運営活動】</b>			
<p>○内容性、情意性、集団性の高い学習課題の設定と課題に正対するまとめのある授業を実践する。</p> <p>○対話型の授業を推進し、生徒が主体的・協動的に学ぶことができる授業改善を行う。</p> <p>○委員会活動と連携し、集中して授業に取り組めるように学習規律の徹底を図る。</p>	<p>日常生活において多様な価値観を認め、互いに支え合おうとする心と態度を育成する。</p> <p>生徒会のいじめ見逃し0の活動と月のいじめ把握アンケートを年間を通して行い、他者を尊重する態度を養う</p> <p>生徒会主体のあいさつ・時間・服装・言葉遣いの向上を目的とした強調週間を実施し、生活習慣を整える。</p>	<p>真剣に考えたり議論したりしながら、人としての生き方を見つめる道徳授業を展開する。</p> <p>生徒一人一人が他者との比較にとらわれず成功体験を積み重ねられるよう努め、自己肯定感を育む。</p> <p>学校行事を通して、他者とよりよく関わりながら目標に向かって努力する姿勢を育てる。</p>	<p>生活リズムを整え、朝食を毎日食べる。食事バランスを考え、昼食を残さない習慣をつける。</p> <p>家庭と連携し、10時半までにはメディアの使用を終了し、7時間以上の睡眠をとる習慣をつける。</p> <p>体力テストの校内記録を示し、体力向上に意識を高める。</p>

【成果目標】自他共に認め、思いやりのある行動のとれる生徒の育成  
 【教育活動】生徒個々のニーズや課題に対応した教育の提供、インクルーシブ教育

地域と共に魅力ある学校づくり・地域づくりに取り組む

■地域人材を活用した学習活動とキャリア教育

■地域ぐるみで取り組む安心・安全活動

■地域と共に取り組む奉仕活動、防災活動

■地域や中学校区で考える望ましい生活習慣

推進・連携・協力

## 【新潟市学校教育ビジョン】

- ・自分の力に自信を持ち、地域の誇れる子ども
- ・「授業力」「組織マネジメント力」「人間力を備え、市民感覚教師
- ・校種間連携、学校種間連携と外部の力を生かした学校づくり
- ・地域・保護者・学校が学校教育を考える参画型システム深化
- ・外部機関と連携した英語教育の推進・北京市中学生との交流

## 【地域・家庭・保護者の教育力】

- ・地域と取り組む奉仕作業、防災活動
- ・勤労・交流体験学習の充実
- ・PTA活動等の充実
- ・家庭学習、食事や睡眠習慣の協力
- ・学校評価への参画